



頭の中がスッキリ整理され、理解力&伝達力が上がる



「構造化思考」の技術

～ビジネスシーンの所々で起こるコミュニケーションの諸問題を解決する思考技術を身に付ける！～

と き

2025年 6月 18日(水) 9:30～16:30

開催形式

会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

ご参加
いただきたい方

●すべてのビジネスパーソン

※その中でも特に、

- 自分の理解力を高め、理解した内容を相手に正確に伝えてスムーズな連携を実現したい方
- 相手にとって必要な情報を“モレなく・ダブリなく・要領良く”伝えたい方
- 情報の受け手にとって、自分とのコミュニケーションで得る価値は高いと感じてもらいたい方

仕事で起こる様々な“滞り”を〈構造化思考〉で解消し、円滑な意思決定と問題解決を実現する！

仕事の基本において、「情報をきちんと受け取り、自分でかみ砕いて正確に理解し、その後協力者にきちんと伝える」ことは一丁目一番地です。日々、仕事を進めていく中で協力者との正確な情報共有とより良い連携を実現するために、



相手から受け取る情報の全体像や流れをきちんと理解したい。でないと、自分から伝える時に相手に合わせて分かりやすく説明できない…



相手に伝える時、モレやダブリがないように「必要な情報を必要な分だけ」要領良く伝えたい。



自分が伝えた情報を相手が受け取った後に、取り組む仕事や問題解決に際してうまく役立ててもらえるようにしたい。

上記のようなことを幾度となく考えたことがあるかもしれません。

実際、日本語が持つ性質として、言外や文脈への依存度が高い「ハイコンテキスト・コミュニケーション」と言われるものがあります。「ハイコンテキスト・コミュニケーション」においては、同じ言葉を伝えても、その時の文脈や受け取る側の理解力によって、伝わる概念が伝える側と異なってしまうということが頻繁に起こります。残念ながら、我々日本人同士のコミュニケーションではこのようなことが至る所で起きており、それが今日の人間関係(相互信頼)の難しさや集団(チーム)の意思決定の遅さや拙さにつながっています。

「ハイコンテキスト・コミュニケーション」では、双方がきちんとコミュニケーションを取ったつもりでも、齟齬が起こる可能性を常に内包していますので、関係者と協力・連携して仕事を進めていく方は情報の受発信時において注意や相手への配慮が必要です。

このような問題を解決するためには、「情報を〈構造的〉に捉える力」が大きく役に立ちます。

「情報を〈構造的〉に捉える力」が身に付くメリットは沢山ありますが、大別すると下記7つにまとめることができます。

- 1 複雑な情報でも「重要度の濃淡(幹と枝葉の違い)」が明確に把握できるので、頭の中がスッキリする。
- 2 把握した情報にモレやダブリをなくすことで、「他者への説明が容易に」なる。
- 3 情報全体の流れや要素間の関係を「図や表でわかりやすく可視化」でき、情報共有者の間でコミュニケーションに齟齬が起きにくくなる。
- 4 情報にダブリ・モレ・曖昧な点がないことで深く本質的な理解が進み、「問題の真因特定」と「解決策の発見」が迅速に進む。
- 5 情報共有者の間での「意思疎通が円滑」になることで、協力・連携などの「業務プロセスの効率」が上がり、「標準化」を進めやすくなる。
- 6 構造化された情報は「AIや機械学習との相性が抜群」なことから、分析によって「有益な洞察」を引き出しやすくなる。
- 7 問題に対する洞察が深まり、「リスクを未然に防止する」行動が取りやすくなる。

このように理解力(情報把握力)と情報伝達力が格段に上がりますので、実用的な相乗効果が得られるようになります。

また、成長速度&レベルに加えて関係者からの評価も確実に上がっていきますので、ビジネスパーソンとしての活躍の場が着実に広がっていきます。

この機会に是非〈構造化思考〉を身に付け、様々な環境において高い付加価値を生み出せる人材への第一歩を踏み出してください。

◆研修プログラム（ 9:30～16:30 ）

1. はじめに

・普段ありがちな問題や情報を構造的に捉えられていない可能性があることに気づく
・本研修の前提となる階層構造化(階層＝レイヤー)を共有する

2. 情報を構造的に捉え、情報の解像度を上げる

(1)「構造化思考とは？」と問われたら？ 演習
(2)検討する「要素」 ～「これは何？」という質問ではない？
(3)「構造化思考」という言葉を分解する (4)「改めて、構造化思考とは？」 演習
(5)構造化思考の目的 (6)情報を構造的に捉えるにはちょっとしたコツがある

3. 「良い質問」と構造化思考

(1)生成AI活用の問題点？ ～得たい答えが本当に得られるのか？
(2)「なぜなぜ分析」の問題点？ ～元の質問に戻ってしまった経験は？
(3)情報を構造化しやすくする良い質問を考える 演習

4. 構造化思考の必須アイテム

(1)全体と一部の関係 (2)利用可能なモデルを洗い出す 演習
(3)KJ法の活用 (4)付せんの活用 (5)KJ法と付せん 演習

5. 情報の構造化と構造化思考のトレーニング

(1)情報レイヤーの平行展開(分解) (2)同じ種類のもの 演習
(3)情報レイヤーの引き下げ(ブレイクダウン) (4)顧客の分類 演習
(5)情報レイヤーの引き上げ (6)指示の意図 演習
(7)構造化の応用 ～売上・費用の分解 (8)売上の予測 演習
(9)別の言葉への言い換え 演習 (10)比喩表現の活用
(11)トラブル発生の要因 演習
(12)業務の構造化で得られる様々なメリット

6. 情報の構造化を利用した予測 ～フェルミ推定とは？

(1)フェルミ推定をやってみる 演習
(2)仮によく知らないテーマであっても一定レベル以上の妥当な推定が可能なことを体感する

7. 日常生活で実践できる「情報を構造的に捉える力」を養う
トレーニング方法

(1)トレーニング方法のご紹介と動機づけ

8. まとめに代えて

・全体の振り返り ・講師からのエール

講 師

中産連パートナー講師（ビジネスコンサルタント）

大学卒業後、出版・通信教育会社に就職。20年以上にわたり、教育サービスの事業責任者、サービス共通基盤開発などのメガプロジェクトの責任者を担当。コンサルタントとして独立後、幅広い業務領域での実務経験を通じて培った「統計活用」「データ分析」「クリティカルシンキング」「構造化思考」「業務構築」等のノウハウを活かし、経営分析、業務分析、業務構築・リエンジニアリングの社員教育など、企業向け支援を中心に活動する傍ら、国立大学法人にてデータサイエンス、教育測定・評価論の講座を担当している。また、国内最大手のビジネススクールの講師や、大手ウェビナーサイトでの講師を務め、本研修テーマに関連した情報（データ）分析による課題発見力&仮説構築力のセミナー受講者は既に1万人を超えている。アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた受講者との双方向型で進める研修スタイルは、丁寧な説明と実務に直結したケーススタディとの併用で、学習意欲を強く引き出してもらえると好評。

頭の中がスッキリ整理され、理解力&伝達力が上がる「構造化思考」の技術（6/18） 参加要項／参加申込書

参加費（1名様）		中産連会員	中産連会員外	★＜構造化思考＞の定着と確かな実践につなげていただくために、講師が指定した課題を実践した後、添削&フィードバックいたします。
	セミナー受講のみ	36,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)	
	フォローアップ(事後行動支援)★付き	47,300円(消費税込)	52,800円(消費税込)	
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。			
受講までの流れ	<会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 <オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外の使用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。			
キャンセルについて	お客様の都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 ・会 場 受 講 の 場 合 ： 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日・・・・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合： テキスト発送後（開催日の約1週間前）・・・・・・受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。			
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL:052-931-9824 e-mail：kohashikawa@chusanren.or.jp			

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

年 月 日

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
☐ 会場 ☐ オンライン				
☐ 会場 ☐ オンライン				
☐ 会場 ☐ オンライン				
申込責任者 所属部課・役職名		申込責任者氏名(フリガナ)		E-mail アドレス
会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員	会員外	